

## 春の訪れを告げる、優雅な舞

◎大本神社清明祭

妖艶な姿で観客を魅了「うずめの舞」



毎年、二十四節季の中の清明の日にあわせて執り行われている「清明祭」は4月5日、好藤地区の大本神社(内深田)で行われました。

当日、国指定重要無形民俗文化財に指定されている伊予神楽を奉納。「うずめの舞」や「剣の舞」など3つの演目が披露され、境内に集まっていた参拝客たちは、その独特な世界観に引き込まれていました。

神楽奉納後には、敷地内で餅まきも行われ、春の訪れを肌で感じながら、春祭りを楽しむ地元の人たちの姿がありました。

## 土佐七色紙の祖新之丞を偲ぶ

◎紙漉き新之丞霊帰村20年祭

神事を執り行う出席者たち



「紙漉き新之丞霊帰村20年祭」は3月26日、新之丞生誕の地である、日吉地区の日向谷で行われました。

土佐七色紙の祖として知られている新之丞は、現在の高知県いの町に土佐七色紙を漉き出す技術を伝えました。しかし、故郷への帰路、紙の技術が他藩にもれることを恐れた土佐の武士に斬殺されたという伝説が残っています。新之丞の御霊を故郷へお迎えするため、日向谷に建立された「土佐紙祖・新之丞碑」の建立から20周年を迎えた今年、当祭が実施されました。

式典には、いの町や鬼北町から約50人が出席し、新之丞に思いを馳せていました。

## ピカピカの新1年生 学校生活スタート

◎町内小中学校入学式

新入生に帽子をプレゼント



4月10・11日、町内小中学校の入学式が行われました。

今年度は、小学校54人(好藤小4人、愛治小2人、三島小6人、泉小5人、近永小33人、日吉小4人)、中学校92人(広見中80人、日吉中12人)が入学。真新しい制服に身を包んだ新入生たちは、保護者や在校生たちの拍手に迎えられながら、少し緊張した面持ちで入学式会場へと入場してきました。

先生から名前を呼ばれると、元気いっぱいの新一年生の声が響き渡る会場。その声には、これから始まる新生活への大きな期待が溢れているようでした。

## 安全安心な町に 13人が新入団

◎鬼北町消防団入団式

誓いの言葉を述べる新入団員



「鬼北町消防団入団式・辞令交付式」は4月9日、広見体育センターで開催され、新たに13人の団員が入団しました。

式では、副分団長や新入団員などへの辞令交付のほか、消防庁、日本消防協会から表彰を受けた団員に対する表彰状の伝達式も行われました。芝田正文副町長は「消防団は必要不可欠な存在。さらなる消防組織の活性化を期待する」と、激励しました。

式典終了後には、奈良川河川敷で消防署員の指導を受けながら、基本動作などの訓練が実施され、消防防災に対する決意を新たにしていきました。